



TCP でのロード バランシング

このトピックでは、着信 CSTA/TCP 接続で使えるように、IM and Presence デュアル ノード 設定でロード バランサを組み込む方法について説明します。ロード バランサには、Cisco CSS 11501 Content Services Switch を推奨します。

次の表では、この統合に合わせて Cisco CSS 11501 Content Services Switch を設定する際に必要となるタスクの概要を示します。各タスクの詳細については、次の URL で Cisco CSS 11500 Content Services Switch のマニュアルを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/contnetw/ps792/products_installation_and_configuration_guides_list.html

表 1: TCP でのロード バランシングのための Cisco CSS 11501 設定チェックリスト

タスク	追加の注意事項
各 IM and Presence サーバの SIP サービス エントリを作成する。	<ul style="list-style-type: none">• キープアライブ ポートは、内容と同じポート（ポート 5060）である必要があります。• キープアライブ メッセージ タイプの値は「tcp」である必要があります。
SIP 規則を作成して、内容およびこの内容を管理するサービスを定義する。	内容は、ポート 5060 の SIP です。 (各 IM and Presence サーバの) SIP サービス エントリは、規則に関連付ける必要があります。
ロード バランサの仮想 IP アドレスを表示するためのネットワーク アドレス変換 (NAT) 規則を作成する。	NAT 規則では、IM and Presence サーバから Microsoft OCS に戻るパケットを、(IM and Presence サーバから直接発生したものではなく) ロード バランサから発生したものとして示します。

Microsoft OCS では、次のパラメータを設定する必要があります。

- SIP メッセージのルーティングに使用するロード バランサの仮想 IP アドレスとなるネクスト ホップ アドレス。
- ポート 5060 でのデフォルトの TCP リスナー。

IM and Presence では、ロード バランサの仮想 IP アドレスを設定する必要があります。これは、[Cisco Unified CM IM and Presence の管理 (Cisco Unified CM IM and Presence Administration)] > [システム (System)] > [サービス パラメータ (Service Parameters)] > [Cisco SIP プロキシ (Cisco SIP Proxy)] > [一般的なプロキシ パラメータ (クラスタ全体) (General Proxy Parameters (Clusterwide))] にある、仮想 IP アドレスのフィールドに設定します。